

ギカイ お便り



特集

ダンチャレ!! ～ 球場で元気に踊る小学生 ～

公共施設などでの農薬使用は

農薬散布時は飛散防止を徹底



佐々木議員



Q 公共施設の除草、防除は農薬を使用しない方法へシフトしていくべきでは。

A 農薬散布は、農林水産省及び環境省からの通知「住宅地等における農薬使用について」に基づき、農薬の飛散防止を徹底している。

Q 家庭菜園や市民農園などで土に触れる市民を増やし、育てた野菜を持ち寄り交流する機会など、身近なところから農業を応援しては。

A 多くの農業者が、認定市民農園をはじめ、市内農産物の直売所、観光農園といった、グリーンツーリズムを展開している。こうした農業者への支援とともに、農業者と市民などをつなぐ交流農園マップを作成し、広く情報提供を行っている。

ICT監査のUNSN

Q 行政でのICT(通信技術



畑サークルで作業する市民

を活用したコミュニケーション)活用にはセキュリティの確保が重要。独立かつ専門的な立場から検証、評価し、助言、勧告するICT監査が必要だが、見解は。

A 国の指針に基づきながら、他自治体の事例なども調査研究し、導入について検討する。

Q ICT監査に当たった最大の課題はスキルを持った人材の確保である。ICT分野の監査専門委員の活用も一つの方法だが、見解は。外部からの専門知識などを持つ人材の活用も含め、調査研究する。

ポイ捨て禁止の条例化は

効果的なごみの散乱防止策を検討



小田島議員



Q JR北広島駅周辺の環境整備について喫煙対策(ポイ捨て禁止条例を含む)の検討状況は。

A 北広島駅周辺地域のポイ捨てを規制する条例の制定については、違反者の特定や行為者への指導方法、罰則規定の適用の有無など課題があり、引き続き調査研究する。

Q ポイ捨て禁止条例制定や喫煙者との共存のための喫煙所の設置を含めた喫煙対策は、いつまでに結論を出すのか。

A 上位法令の運用や市独自の条例の整備を含め、ボールパーク開業に間に合うよう効果的な散乱防止策について検討を進める。

Q 公衆無線LANについての検討状況は。

A 今後、利用者の増加が見込まれる駅周辺について整備手法など引き続き検討する。

Q 駅周辺の防犯カメラの設置は。

A 他事業者によるカメラの設置状況や駅周辺の利用者の状況を踏まえ、必要に応じた配置について検討する。

Q *コンシェルジュ的な体制整備は。

A エルフィンパーク交流広場などでの臨時観光案内所の設置に向けて観光協会と協議を進めている。

ほかに職員の定年年齢引き上げ、広域自転車道の整備、雪害の検証などについて質問がありました。



JR北広島駅周辺

带状疱疹ワクチン接種に助成を

国の定期接種などに対する議論を注視



稲田議員



Q 带状疱疹は加齢とともに発症率が高く後遺症にも苦しむ。治療費も家計を圧迫している。ワクチンの存在を知っていたらと残念がる発症者の方の声を聞いた。ワクチン接種の支援をしている自治体もある。ワクチン接種は年金生活者や低所得者の負担が大きい。今の状態を放置しておくとの医療費への跳ね返りが見込まれる。国に先んじてワクチン接種の助成を進めるべきでは。

A 国において、定期接種に対する議論が継続化されている。国が示す社会的効果や安全性の判断を注視したい。

Q がりなどで、巷では新駅着工時には100億、完成時には150億になっているのではとの話が飛び交っている。建設費の見直しは。令和2年度にJR北海道に請願書を提出した。周辺の開発事業など、民間事業者との連携の検討を進めていく。今年度中のJR北海道の調査結果をふまえた中で具体的な検討を進める。80億が100億を超える時の判断はどうするのか。

A 数字は市側が示したものではない。今後しっかりと内容など精査して、議会で議論いただき進めていく。

Q 数字は市側が示したものではない。今後しっかりと内容など精査して、議会で議論いただき進めていく。

A 令和4年度から、保健師、社会福祉士などを配置した福祉総合相談室を新設し、子どもから高齢者まで、切れ目のない相談が行える体制を整備したところであり、今後も、委員の皆様が安心して活動できるサポート体制などの環境整備に努める。

民生・児童委員の負担軽減は

サポート体制などの整備に努める



桜井議員



Q 民生・児童委員の皆様は、地域における調査、実態把握、生活困窮者などの相談支援、要支援者の見守り、訪問、要保護児童の発見、通告など多岐にわたる地域福祉の活動を行っている。しかし、地域の絆が薄れていく中で、業務負担は年々増加している。負担軽減策として、例えば、顧問弁護士への委嘱や、精神科医のサポート体制整備などは行えないのか。

A 令和4年度から、保健師、社会福祉士などを配置した福祉総合相談室を新設し、子どもから高齢者まで、切れ目のない相談が行える体制を整備したところであり、今後も、委員の皆様が安心して活動できるサポート体制などの環境整備に努める。

道道札幌恵庭自転車道線一部区間の権限移譲について

Q ボールパークを起点としたイベントなどによるまちづくりをスムーズに進めていく上でも、北広島駅からボールパーク1号緑道の結節点まで、道路管理の権限移譲を協議しては。

A 道路管理者である北海道と、権限移譲の必要性などを含め、協議を進める。

ほかに各課のダイヤルイン導入、市の人事制度、小学校の教科担任制などについて質問がありました。

BPP新駅にJUNON

Q 新駅構想では建設費80億という数字がでていたが、建設資材の高騰、ロシアのウクライナ侵攻での木材値上



症状は、神経に沿って様々な部位に現れます。带状疱疹の出現箇所



道道札幌恵庭自転車道線(エルフィンロード)

大曲工業団地の再整備を

関係者と協議を進めている

Q 大曲工業団地1丁目1番地から五番地にかけてのエリアは、開発から50年以上が経過しており、舗装や排水溝も劣化しているばかりか、未だ上下水道が整備されていない地区もある。整備が行き届いていないエリアがあることについて、市長の見解は。

A 平成14年に主要な道路用地の寄附を受け、市道認定のための説明会を開催したが、条件が整わず未整備となっている。現在、整備に向け関係者と協議を進めている。

A 現在行っている協議が正しいのか。

Q 当該地区に社屋を持つ企業の皆様から、地域再整備の陳情書が市長宛に提出され、これに対し市側は書面回答しているが、この中に「再度説明会を開催する」と記している。いつ、この説明会を実施するのか。

次第、早期に開催したい。

市職員のコロナ感染公表について

Q 新型コロナウイルスの発生から2年半が経過し、考え方も当初から変化してきている中で、当市職員の感染が判明した際にホームページやSNSで公表する必要はもつないと考えるが、今後の感染状況を見極めながら、職員の感染の公表の取り止めも含め、公表のあり方を検討する。



青木議員



砂利で埋まった側溝

学校部活動の地域移行は

国の動向注視し情報交換に努める

Q 令和5年度から始まる休日の部活動地域移行についての対応、進捗状況は。

A 国の動向を注視し、さまざまな課題の整理、先進地区事例の情報収集や、活動団体及び民間事業者などとの情報交換に努めている。

Q 部活動地域移行に向けスポーツ協会などの協力可能な団体との協議の場が必要と考えるが見解は。

A スポーツ協会をはじめ、総合地域スポーツクラブ、スポーツ少年団及び社会教育関係団体、民間スポーツクラブなど、さまざまな団体が想定される。今後、本市に適した運動部活動のあり方、支援体制などについて検討する。

A 令和3年度の調査では、大曲中学校以外に3校から運動系および文化系で複数種目について希望があった。

Q 運動系文化系での種目は。運動系がソフトテニス、サッカー、バドミントン、卓球。文化系が合唱、吹奏楽の種目について希望があった。

Q 今後の部活動指導員の確保、処遇の展望は。

A 北海道教育委員会の人材バンクの活用や民間との連携など調査研究したい。



久保田議員



大曲中学校のグラウンド

景観を守る条例の制定を

条例制定の検討を進めたい



橋本議員



Q 旧島松駅通所を核として、歴史、景観、地域遺産が多

くある「島松・三島地区エリア」には太陽光発電施設を設置できないような北広島独自の厳しい条例の制定をしようか。

A 市全体の景観のあり方を検討する上で、条例制定の検討を進める。島松・三島地区は、歴史的建造物や貴重な景観資源を有していることとは認識している。

Q 景観計画の策定をどのように考えているか。

A 景観計画策定については、太陽光発電施設の規制とも関わることから、景観行政団体に移行した自治体の策定手法などを参考に計画策定に向けた検討を行う。

開拓記念公園の再整備について

Q 芝生の張り替えや黒ずんだ



三島方面から旧島松駅通所方面をみた太陽光パネル

Q ブロック舗装など、公園にふさわしい新たな整備をすべきでは。

A ブロック舗装やモニユメント、芝生や樹木なども、良好な状態が保てるよう適切な管理に努めたい。

Q 公園は開村100年事業として平成8年に整備された。令和6年は開村140周年を迎えることから、ぜひ、記念事業を実施するべきと考えるが、見解は。

A 本市の礎を築いてこられた先人達の英知と情熱について広く周知し、市民の皆様への理解や認識を深める機会でもあることから、今後検討してまいりたい。

北広島駅ホームの安全対策は

安全対策の協議を進めている



人見議員



Q 北広島駅下りホームの延伸工事が終わった。試合終了後に大勢の乗客が駅に押し寄せ、ホームへの転落の可能性も否定できない。安全対策についての見解は。

A 現在、JR北海道とファイターズ、本市の3者で安全対策について協議を進めている。駅構内における乗客の誘導は、改札に入る前に人流を一度止めるなどの運用についても、安全対策の一つとして検討している。

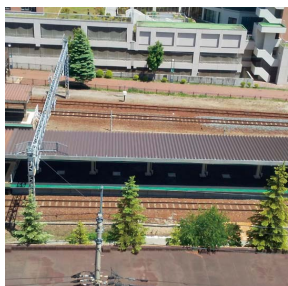
Q やはり事故が心配である。現在の札幌ドーム試合開催日の地下鉄福住駅と比較して、階段やエスカレーターの設定数が少なく、階段の幅も狭い。過去にも全国で将棋倒しによる事故が起きている。混雑防止、事故防止の観点から、北広島駅、新札幌駅発以外のシャトルバスの路線が必要ではないか。

A 今後の情勢を見ながら、幅広く効果的な対策を検討していく。

物価高騰対策について

Q 興行主であるファイターズがバス事業者と調整しているところである。

A 本市でも低所得の子育て世帯への特別給付金への独自の上乗せや、給食費への支援、事業者への費用負担軽減支援などを実施しているが、これからは幅広い市民を対象とした支援策も求められると思うが、見解は。



延伸された駅のホーム

学校での生理用品の常備を

保健室に常備し、配布している



永井議員



Q 小中学校での生理用品について、予算編成要望でトイレへの常備を求めた際、「他自治体の事例などを調査研究する」と示したが、進捗状況は。

A 保健室に常備し配布している。また引き続き先行事例について調査研究していく。

Q 子ども自身が自分の身体の健康を守るための知識を学び、ジェンダーやセクシュアリティの多様性を進めていく観点からも、年齢や発達に即した包括的な性教育を学校教育に位置づけることが重要と考えるが見解は。

A 小学校3・4年の保健及び中学校の保健体育の教科学習や教育活動全般にわたって人間尊重の精神に基づき指導を行っている。

も自身が条例の主旨の理解を深める機会を設けるべきだが、具体的な取り組みは。

A それぞれの記念事業に子どもが参加する機会が確保できるよう努める。

Q 乳幼児期からのジェンダーの取り組みの促進について、子どもの権利条例も含めた中で啓発していくことを示したが、どのように進めてきたか。

A 市内を巡回し、子どもの権利相談を行い、保護者への普及啓発を行っている。

ほかに子ども・若者ケアラー支援などについて質問がありました。

バス待合所の早急な整備を

バス事業者と鋭意協議する



山本議員



Q コロナ禍でバス乗車人口の現状は。

A 感染症拡大前の3、4割程度減少し、今後も感染症拡大前まで戻らないと想定される。

Q 現状を踏まえた新たな交通計画を策定する必要があると考えるが。

A 新しい交通計画については、地域公共交通を取り巻く社会情勢を踏まえながら、策定する。

Q バス待合所の整備は全然進んでいないと思うが。

A 新たな整備は行っており、建て替え、修繕などを行ってきた。

Q 芸術文化振興審議会での議論の状況は。

A ウィズコロナに向けた事業の取り組みや民間企業の芸術文化支援などの積極的な活用などが出されている。

Q コロナ禍での芸術文化活動の発展や若い層での文化活動をどう進めるのか。

A インターネット活用した芸術文化作品の紹介や若い世代が参加しやすい芸術文化活動の展開に努める。

Q 美術作品鑑賞の推進は。

A ギャラリー展について今後も充実を図っていく。

ほかに環境問題について質問がありました

子どもの権利条例について

条例制定10周年を機に子ども



子どもの権利ニュース

文化振興施策について



大曲地区バス待合所

歩きたばこ禁止区域の設定は

先進自治体を調査研究したい



大迫議員



Q ボールパークがオープンすると、市外から多くのお客様が当市を訪れる。大勢のお客様が歩く道で、受動喫煙だけでなく、火傷などの事故が起きかねない。北広島駅から球場までの一定区間を、ポイ捨てを含む歩きたばこ禁止区域とする考えはないか。

A 違反者の特定や罰則規定の有無、指導方法などの課題があることから、先進自治体における事案などについて調査研究していきたいと考えている。

Q 電車で来られる観客数は13,500人と想定しているが、北広島駅から新球場までをシャトルバスを使わず、徒歩で向かう人の数ほどのくらいと想定しているのか。

A 50%の6,750人を想定している。

災害時の車両駐車場の確保について

Q 全国の自治体では、災害時に民間施設の駐車場に避難車両を止められるよう災害協定を結んでいるところが増えている。当市においても、災害時に民間施設の駐車場を利用できるようにすべきでは。

A 避難が長引いた際に、長期間にわたり駐車場を占有することによる当該施設の本来業務への影響も想定される。引き続き情報収集に努めていきたいと考えている。

3歳児健診で屈折検査導入を

具体的な検討をしている



木村議員



Q 弱視の早期発見のため、3歳児健診の際に専用の機器を用いて検査をする屈折検査が有効である。令和3年でも質問しているが早期に導入をするべきでは。

A 本年5月に、3歳児健診に従事する職員を対象に屈折検査を用いて研修を行い、具体的な検討をしている。

住民プールの開放について

Q 今後、コロナ感染者が発生しているから中止にするのではなく、ルールを決め、開放してはどうか。

A 次年度に向け、情報の収集に努め、ウィズコロナに対応したプール開放のあり方について検討をしたい。

ほかに子育て支援について質問がありました。



新球場へ通じるエルフィンロード

带状疱疹ワクチン接種助成について

Q 子どもの時に感染した水ぼうそうのウイルスが原因。抗ウイルスの投与が遅れると顔面まひや難聴、また、带状疱疹後神経痛になる場合がある。2016年3月から子供用水痘ワクチンを带状疱疹ワクチンとして50歳以上に接種することが認められた。ワクチン接種の助成をしてはどうか。

A 国において期待される効果



白樺プール

大曲学童クラブの狭隘対策は

必要な環境整備に努めたい



藤田議員



Q

大曲学童クラブは、定員14人の市内最大の施設だが、今年度112人の登録数となっている。現在のコロナ禍においては、施設内では密を避けて、できる限り人と人の距離を取ることが望ましいが、大曲学童クラブは施設の構造上の問題もあり、狭隘のため、密にならざるを得ない。大曲学童クラブの狭隘対策の解決策を立ててから、業務委託すべきでは。

Q

大曲学童クラブは児童数が多く、密になりやすいことから、通常保育の場を2教室から3教室に拡大したり、学校を利用したりするなど、できるだけ密にならない運営に努めている。今後も、児童の健全育成に必要な環境整備に努めたい。

**アクア・バイオマスセンター
北広島の浸水対策について**

Q

本市のアクア・バイオマスセンター北広島は、市の洪水ハザードマップの浸水想定区域内に施設がある。浸水対策を早期に実施すべきでは。

Q

国の施策により、下水道施設耐水化計画の策定が求められる。来年度に、計画の策定を予定しており、この中でアクア・バイオマスセンター北広島の浸水対策は、止水壁などによるハード対策や下水道BCPを活用したソフト対策の双方から検討する。



大曲学童クラブ

ギカイからの活動報告

7月6日に北海道ボールパークFビレッジの視察を行い、工事の進捗状況等を確認しました。

球場前での集合写真

7月6日



工事の都合上、建設期間中の視察は、今回が最後になります。

ギカイでこんなことが決まりました

第2回定例会	
議案	19件
発議	1件
同意案	1件
意見書	5件
請願	1件

第2回定例会 会期22日間

6月6日～6月27日

第2回定例会 議案審議

この中から2つを **Pick up**



第2回定例会

Pick up 1 防災食育センター新築工事に係る請負契約を可決しました。

朝日町5丁目1の4にある現給食センターは1973年度に供用開始しており、老朽化や狭隘化などの課題を改善するため、大曲2の1に移転新築するものです。

第2回定例会において、防災食育センター新築工事の内

建築主体工事 12億4,190万円（契約金額）

電気設備工事 4億3,450万円

厨房設備工事 4億8,235万円

空調設備工事 4億1,250万円 以上4件の工事の請負契約について議決いたしました。



Pick up 2

一般会計補正予算を可決しました。

消防団運営経費

15万円の増額

寄附金を活用し、火災予防普及啓発物品を購入する。

六次産業化等支援事業

81万7千円の増額

商品開発等を行う農業者及び商工業者に対する補助金を支給します。

新型コロナウイルス感染症対策 補正予算 合計 2億7,605万6千円

地域公共交通事業者 感染症対策事業



3,961万4千円

地域公共交通事業者に対する支援金を給付します。

新型コロナウイルス ワクチン接種事業



1億8,530万5千円

4回目のワクチン接種に向けた体制整備を行います。

物価高騰等影響事業者支援事業

1,529万2千円

原油価格・物価高騰などに伴い仕入価格上昇などの影響を受ける事業者に対する支援金を支給します。



緊急雇用創出事業

782万2千円

感染症の影響による雇用情勢の悪化に伴い解雇や採用内定の取消を受けた者などを対象とした会計年度任用職員の任用します。



特定教育・保育施設等園児給食費物価高騰対策事業

542万2千円

新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う、物価高騰による給食費の保護者負担軽減等のための幼稚園等に対する支援金を支給します。



特集

ダンチャレ!! について 市の吉田教育部長にインタビュー

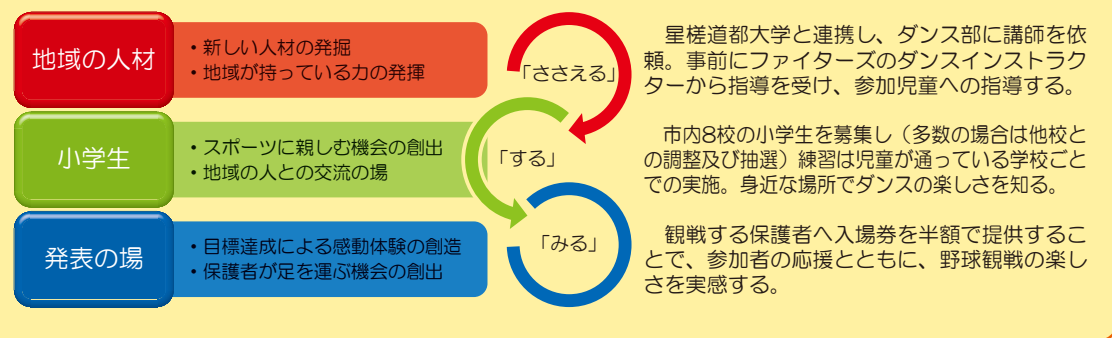


Q : ダンチャレ!! とは？

A : 子どもたちが、普段体験することのできない場所でダンスにチャレンジする事業です。
今回は、北海道日本ハムファイターズとの連携事業として、星槎道都大学の皆様のご協力を得ながら、子どもたちが普段体験することのできない場所として、札幌ドームでの発表を実現しました。

Q : ダンチャレ!! で得られる効果とは？

A : 昨年度よりスタートした「北広島市スポーツ振興計画」の中で、重要としている、「する」「みる」「ささえる」のすべての要素を具現化する事業です。
子どもたちが身体を動かすことの楽しさを体感することや、地域の人材の活用、子どもたちの発表を見に来る方々の野球観戦やスポーツに親しむ機会の創出など、様々な効果があると考えています。



Q : ダンチャレ!! に参加した子どもたちの感想は？

A : 参加した子どもたちからは、「すごい楽しかった!」、「広いところで踊れて良かった!」、「また踊りたい!」などのお声をいただきました。次回の「ダンチャレ!!」も子どもたちに楽しんでもらえるような企画にしていきたいと考えています。

第3回 定例会のお知らせ

〈本会議〉

開 会 9月6日(火)
一般質問 9月15日(木)～9月21日(水)
閉 会 9月30日(金)

〈委員会〉

総務常任委員会 9月26日(月)
民生常任委員会 9月27日(火)
建設文教常任委員会 9月28日(水)

日程は都合により予告なく変更になる場合があります。
傍聴を希望の方は、当日、市役所5階議会事務局窓口にお越しください。
日程など詳しい情報は、北広島市議会のホームページをご覧ください。

